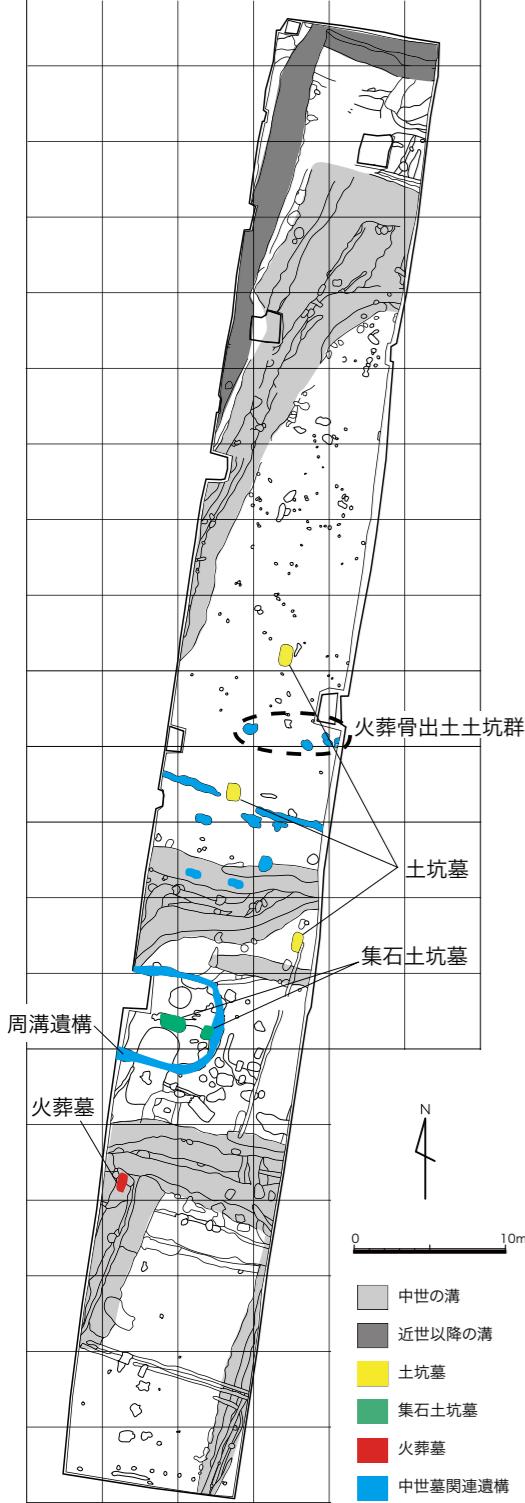




青山神明遺跡

発掘だより 14 号

令和 8 年 1 月 16 日



◆ 25H 区の調査成果

青山神明遺跡 H 区は神明公園の西側、13 号で紹介した F 区の南に位置します。令和 7 年 10 月から 11 月にかけて調査を行いました。主に中世と近世の遺構が確認されています。

中世の主な遺構として東西方向と南北方向の溝群および中世墓関係の遺構が検出されています。調査区北半において南北方向の溝群、調査区南半では東西方向を主体として南北方向の溝群が確認されています。中世墓と墓域関係遺構は調査区中央部から南寄りの区域に分布しています。中世墓は、土坑墓、集石土坑墓、火葬墓があります。土坑墓は 3 基検出され、長辺 0.9~1m 短辺 0.7~0.8m の長方形で長軸が南北方向となり、検出面で深さは 0.1m ほどです。1 基から完形の山茶碗皿が出土しています。集石土坑墓は 2 基検出されています。やや大形の 1 基は主軸が東西方向に長く、長辺約 1.8m、短辺約 1m の長方形に近い形です。小形の 1 基は主軸が南北方向に長く、長辺約 1m、短辺約 0.8m です。径 10 数センチの円礫が集積し、埋土中より骨片が出土しています。火葬墓は 1 基検出されています。径約 1m の範囲内より骨片、炭化物、焼土が検出されました。副葬品と推測される古瀬戸陶器が出土しています。

その他、中世の墓域に関する遺構として土坑および溝が確認されています。調査区中央部で骨片、焼土、炭化物を含む埋土の土坑 5 基が検出され、火葬に伴うものと考えられます。また、一般の掘立柱建物とは異なる構造の柱穴と推定される大形土坑 3 基、根石がある土坑 3 基が検出されています。また、墓域を区画する溝 2 条が確認されています。この溝は直線的に連続して、墓域の入り口と推定される途切れ部分が設けられています。集石土坑墓を囲む形で周溝遺構が 1 条確認されています。埋土中より骨片、炭化物が出土し、中世墓に関する遺構と推定されます。

25H 区全体図

予告 地元説明会を開催します

日時 2 月 14 日 (土) 午前 11:00 ~

場所 青山神明遺跡発掘調査現場 25P 区 参加無料

※ 動きやすい服装でお越しください。

問い合わせ先

調査課 (0567) -67-4163 担当 鈴木・梶田



土坑墓



集石土坑墓



火葬墓



周溝遺構